

I 概要

【内政】

- 1～5日 ギャロップ社世論調査（大統領支持率は44%）
- 3日 準閣僚級新規ポストの任命
- 3日 国家改革法案の提出

【外交】

- 11日 サンペール元大統領のUNASUR事務局長就任式（於：ベネズエラ）
- 19日 オルギン外相の第49回OAS特別総会出席（於：グアテマラ）
- 22日 サントス大統領と潘基文国連事務総長との会談（於：ニューヨーク）
- 22～24日 サントス大統領と各国首脳との会談（於：ニューヨーク）
- 22～27日 オルギン外相と各国外相との会談（於：ニューヨーク）
- 25日 サントス大統領の国連一般討論演説（於：ニューヨーク）
- 26日 太平洋同盟加盟国とASEAN諸国連合との会合（於：ニューヨーク）
- 30日 ペルーとの二国間合同閣議（ペルー）

II 本文

【内政】

1 世論調査

ギャロップ社が1日～5日にかけて実施した世論調査で、コロンビアが良くなっているかとの質問に対して肯定したのは27%であった。サントス大統領への支持率は44%、不支持率は49%となった。

2 準閣僚級新規ポストの任命

サントス大統領は、新規準閣僚級4ポスト（機構上はそれぞれ長官級以下にすぎない）について2日に政令を公布し、3日以下のとおり各ポストに正式就任した。

新規準閣僚級ポストのうち、大統領府長官(Ministro de la Presidencia（但し、政令上はDirector))は、従来の大統領府官房長(Secretario General)の名称変更・権限強化をし、他の3名の大臣級審議官(Ministro Consejero)は、大統領府内の高等審議官ポストを統廃合して準閣僚級にし、大統領府における政策決定の影響力強化、政府と各省庁との調整強化、政策課題の周知・広報の強化等を目的としている。

(1) マルティネス大統領府長官(Nestor Humberto MARTINEZ Neira)

政府内の調整、政府と各党との関係調整、法案の審議日程等を担当する。

(2) ナランホ紛争後問題・人権・治安担当大臣級審議官(Oscar Adolfo NARANJO Trujillo)
紛争後(和平達成後)の諸問題に関する政策立案・調整, 紛争後の懸案である治安問題への対応, 対人地雷問題, 市民安全省設置準備等を担当する。人権問題審議会も管轄する。

(3) グティエレス官民担当大臣級審議官(Maria Lorena GUTIERREZ Botero)

公共政策の効率的執行, 民間セクター及び地方との関係を担当する。OECD加盟プロセスの調整も担当する。

(4) カルデロン広報担当大臣級審議官(Maria del Pilar CALDERON Vargas)

政府内における政策の周知及び政府諸機関のメディアとの関係を統括する。政府広報の一体性を高めることが目的。

3 国家改革法案

3日, 権力分立の不均衡解消及び懸案の司法改革を実現するため, 政府は国家改革法案を提出した。当初政府は, コンセンサスを追求する予定であったが, 内容につき既に激しい議論が展開されている。

同改革法案には, 大統領及び他の政府要職の再選禁止規定, 判事, 検事総長, 及び会計検査院長等の裁判を行う特別職階裁判所の設置, 行政監察庁長官による議員の懲戒権の剥奪, 議員の公職兼職禁止規定の撤廃(議員のまま大臣になれるようにすることを含む), 高等司法審議会の廃止等が含まれる。

【外交】

1 サンペール元大統領のUNASUR事務局長就任式(於:ベネズエラ)

11日, ベネズエラにおいてサンペール元大統領のUNASUR事務局長への就任式が実施された。同式典には, モラレス外務次官(マルチ担当)が出席した。

2 オルギン外相の第49回OAS特別総会出席(於:グアテマラ)

19日, グアテマラにおいて第49回OAS特別総会が開催され, オルギン外相が出席した。同総会における演説において, オルギン外相は, 米州における麻薬との戦いを進展させる必要性を訴えた。

3 サントス大統領と潘基文国連事務総長との会談(於:ニューヨーク)

22日, 国連総会出席中のサントス大統領及びオルギン外相は, 潘基文国連事務総長と会談し, FARCとの和平交渉の現状及び気候変動問題につき協議した。

4 サントス大統領と各国首脳との会談(於:ニューヨーク)

22~24日, 国連総会に出席中のサントス大統領は以下のとおり各国首脳等と会談したほか, 各種会議に出席した。

[22日]

(1) シモン・ペレス・元イスラエル首相との会談

FARCとの和平交渉に関連し協議した。

[23日]

(2) ニーニスト・フィンランド大統領との会談

教育、科学技術、イノベーション、通信、環境分野での協力につき協議した。サントス大統領は、フィンランドの教育モデルを研究するための視察団を派遣したい旨表明した。

(3) ルッテ・オランダ首相

サントス大統領は、シェンゲン協定国へのコロンビア人短期滞在者の査証免除措置導入への支持を要請した。

(4) ラージャパクサ・スリランカ大統領

(会談内容は未発表)

(5) 気候変動サミット出席

サントス大統領は、コロンビアの取り組みとしてアマゾン地域の保全を挙げた。

(6) グローバル投資シンポジウムへの出席

[24日]

(5) ソルベルグ・ノルウェー首相

FARCとの和平交渉につき協議した。

(6) ブレア元英国首相

(会談内容は未発表)

(7) バチエレ・チリ大統領

FARCとの和平交渉につき協議した。

(8) プレブネリーエフ・ブルガリア大統領

(会談内容は未発表)

(9) レンツィ・イタリア首相

サントス大統領は、EU議長国であるイタリアに対して、FARCとの和平交渉につき協議するとともに、紛争後支援のための欧州基金設置構想に対する支持を要請した。

5 オルギン外相と各国外相との会談（於：ニューヨーク）

22～27日、国連総会出席中のオルギン外相は、以下のとおり、各国外相との会談を実施したほか、各種会議に出席した。

[22日]

デンマークとの外相会談

[23日]

ベトナム、マレーシアとの外相会談。

気候変動サミット、グローバル・テロ対策フォーラム（GCTF）、グローバル投資シンポジウムへの出席。

[24日]

セネガル、ニュージーランド、ミャンマー、アルジェリア、シンガポール、モロッコとの外相会談。

[25日]

メキシコ（アゼルバイジャンにおける両国大使館の建物の共同使用に関する協定に署名）、

米国（ジェイコブソン国務次官補），カンボジアとの外相会談。

太平洋同盟閣僚会合への出席。

[26日]

エクアドル，ベネズエラ，ツバル，ルーマニア，トルコ，スペインとの外相会談。

G77+中国外相会合，太平洋同盟・ASEAN外相会合への出席。

[27日]

キューバとの外相会談。

6 サントス大統領の国連一般討論演説（於：ニューヨーク）

25日，サントス大統領は、国連総会において一般討論演説を行った。同演説においてサントス大統領は、西半球最後の武力紛争であるFARCとの紛争につき、和平達成がかつてなく近づいているとして国際社会にアピールするとともに、被害者の代表が和平交渉に参加していることが画期的である旨述べた。

また、2025年までにコロンビアをラテン・アメリカで最も教育の行き届いた国にする目標を示した。

7 太平洋同盟加盟国とASEAN諸国連合との会合（於：ニューヨーク）

26日，太平洋同盟加盟国は、国連総会の場を利用してASEAN諸国連合と会合を実施し、今後の協力について意見交換を行った。ASEAN側閣僚は、太平洋同盟に接近することで合意するとともに、重要なことは企業レベルで交流すること、貿易及び投資の強化、並びに今後も対話を継続し協調可能な分野を明確にしていくことであると明確に述べた。

8 ペルーとの二国間合同閣議（ペルー）

30日，ペルー・イキトスにおいて第一回コロンビア・ペルー二国間合同閣議が開催された。同会合においては、開発政策や各分野での協力につき協議されたほか、両国の森林資源と天然植物相の管理のための枠組み協定の可能性、観光客誘致の共同プロモーション、麻薬問題、国境開発についても協議された。

（了）